



平成 29 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲  
( J A S D A Q ・ コード 8704 )  
問合せ先 取締役 加藤 潤  
( TEL 03-4330-4700 (代表) )

当社子会社によるスリランカにおいて再生可能エネルギー事業等を営むグループ会社が  
発行する転換社債等の引受けに関する基本合意書締結のお知らせ

当社子会社であるトレイダーズインベストメント株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：川上真人、以下「トレイダーズインベストメント」)は、本日開催の取締役会において、スリランカにおいて再生可能エネルギー関連事業を営む子会社等を有する Davora Capital (Pvt) Ltd. (以下「Davora 社」)と、今後同社が発行予定の転換社債等の引受けに関する基本合意書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. Davora 社転換社債等引受けの背景及び目的

Davora 社があるスリランカは、2009 年までの約 25 年に渡る内戦の終結以降、国内情勢の安定化に伴う復興需要を背景に、経済活動も活性化し続けており、同国株式市場は、内戦直後から 2 年間で約 4.5 倍に上昇するなど世界中の投資家から注目を集め、その後も、2012 年に過去最高となる 9.1%の経済成長率を達成しています。従前は、経済基盤の整備拡充や社会サービスの質的向上策、及び自然災害や国内紛争の影響を受けた経済的な後発地域への投資・開発が課題となっておりましたが、最近では、海外からの直接投資の増加に牽引されるかたちで各種インフラ開発や観光産業分野も大幅に伸びており、直近の 2015 年においても 4.8%と引き続き高い成長を続けており、今後のさらなる経済発展への期待も高まっています(※)。

Davora 社はスリランカにおいて、バイオマス発電事業、水力発電事業等の再生可能エネルギー関連分野を主軸に事業展開を営むグループの持株会社であり、その傘下(グループ会社)には、バイオマスや水力による各種発電事業会社のほか、電力事業コンサルタント・マネジメント会社、スリランカの主力輸出品として近年、国を挙げて高付加価値化に取り組んでいるスリランカ紅茶の製造・販売会社、衛生陶器の製造・販売会社などがあります。このうち電力事業コンサルタント・マネジメント会社である Hydro Power International (Pvt) Ltd (以下「HPI 社」)は、スリランカで国営送電網に電気を供給することを目的として 1999 年に設立され、用地調査から設備建設・保守運営まで、EPC 契約によりワンストップでサービスを提供するパイオニア企業として、現地企業や住民との協力によりコストの最適化をはかり、これまで南アジアやアフリカ地域を中心に、数々のプロジェクトを完成させてきた実績を有しております。

今般、Davora 社の代表取締役 Nishantha Nanayakkara 氏より、同国でのバイオマス発電事業や水力発電事業の拡大等を通じた Davora 社のさらなる企業価値向上を図るため、当社グループに対して、同社発行の転換社債引受けの打診があり、これまで慎重に検討してまいりました。

当社グループが、Davora 社の発行する転換社債等の引受けを行うことを通じて Davora 社傘下の HPI 社をはじめとする各発電事業会社等との事業連携をさらに深めていくことは、将来の再生可能エネルギー関連事業における海外展開への布石となるだけでなく、既存の水力発電事業のスキームやプロジェクトを活用した投資事業案件として、当社金融事業における証券化ビジネス(ファンドの組成・販売等)の強化に繋がると認識しております。

上記 HPI 社は、当社子会社でバイオマス発電設備の製造・販売事業を営む株式会社 Z E エナジ

ー（以下「Z E エナジー」）との間に、スリランカ国内でバイオマスを利用した発電事業を共同推進する基本合意及び技術提携契約を締結し、同社及び Davora 社の代表取締役である Nishantha Nanayakkara 氏を Z E エナジーの取締役に迎えており、今後、さらなる強固なビジネスリレーションシップを構築することが可能となります。

また、既存の水力発電事業のスキームやプロジェクトを活用した投資事業案件については、既に HPI 社出資のスリランカ水力発電所を投資対象とするファンドを子会社 트레이ダーズ証券株式会社が組成・投資家へ販売した実績もあり（当社、平成 27 年 9 月 28 日付『子会社 트레이ダーズ証券における「F&T Hydro Power ファンド」取扱いのお知らせ』にて公表しているファンドの投資対象会社）、スリランカでのビジネス基盤の足掛かりを構築・整備することで、国内案件はもとより経済成長力のあるスリランカをはじめとするアジア地域において、再生可能エネルギー、インフラ事業分野の証券化ビジネス（各プロジェクトの資金調達を支援する事業展開と投資対象事案の確保）を強化することにつながります。

以上の検討を踏まえた結果、海外における再生可能エネルギー関連事業の拡充（転換社債等引受けに伴う様々な投資の副次的効果）や証券取引事業のより一層の強化も期待できることから、当社グループの中長期的な成長に資するものと判断し、本件基本合意書を締結することといたしました。

※出典：JETRO『スリランカ BOP 層実態調査レポート』、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング『スリランカ経済の現状と今後の展望』より

## 2. Davora 社転換社債の概要及び日程（予定）

- ① 発行価額：1 億 5 千万円相当額
- ② 償還期間：3 年間
- ③ 利率：年率 8 %
- ④ 基本合意書締結日：平成 29 年 3 月 16 日
- ⑤ 転換社債等の引受け日：未定※（※今後、スリランカ民主社会主義共和国において、外国籍企業が転換社債等を引受ける（資金送金の）ための各種事前許可申請手続きを実施し、同許可を取得した後に、正式な転換社債等の引受けの最終契約書を締結することとなります。）
- ⑥ 引受け資金：トレーダーズインベストメントは、本件引受けに際して、その資金全額を当社創業家である金丸家から借入れて実行する予定です。

## 3. Davora 社の概要

(1) 商号	Davora Capital (Pvt) Ltd.
(2) 本店所在地	No. 92/A, G. H. Perera Mawatha, Raththanapitiya, Boralessgamuwa, Sri Lanka
(3) 代表者の氏名	Dehigaspe Patabendige Nishantha Nanayakkara
(4) 事業内容	発電事業、紅茶製造・販売業、衛生陶器販売業等の持株会社
(5) 設立年月	2015 年 8 月
(6) 大株主及び持株比率	Dehigaspe Patabendige Nishantha Nanayakkara 100%

## 4. 今後の見通し

本件基本合意書締結に伴う平成 29 年 3 月期の連結業績に対する影響は軽微であります。

以上